



会 長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門
副 会 長 道尻 誠助 幹 事 正部家光彦
クラブ奉仕 会 計 佐々木泰宏
会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一
職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉
社会奉仕 地代所久恭 副 幹 事 松本 剛典
国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八 戸 市 番 町 14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0 6 0 8 FAX (43) 0 6 6 1
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也
同 委 員 廣田 茂 同 委 員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022～23 — 八戸ロータリークラブのテーマ

イマジン ロータリー

ロータリーの力を信じよう！

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小 林 幹 夫

4 月 は 母 子 の 健 康 月 間 で す

第3266回例会 2023.4.5

▶ ゲスト・ビジター

ゲスト：八戸商工会議所会頭 武輪俊彦さん

ビジター：国際ロータリー第2830地区

2023-24年度南グループ

ガバナー補佐 吉田賢治さん

会 長 要 件 小林 幹夫 会長



本日は2週間ぶりの例会です。またホームグラウンドでの例会は約1か月ぶりの開催で、やっと我が家に帰ってきたような安心感があるかと思っています。3月25日～26日のPETS（次年度会長幹事研修）の開催はご苦労様でした。そこで次年度の築館ガバナーの方針を聞きながら、次年度における各クラブでのテーマを決めていくという研修でした。わたしも裏方としてお手伝いさせていただきましたが、途中タイムスケジュールが遅れ気味になり、少々焦ったところもありましたが、概ねトラブルなく終わったのではないかと思います。5月に実施される地区協議会もご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて本日は、先ほどゲストをしてご紹介しましたが、八戸商工会議所会頭をお呼びして卓話をいただくことになっています。当クラブにも八戸商工会議所に深いかかわりをもつ方々がいらっしゃるかと思います。本日は現役の会頭をお呼びして、「八戸商工会議所第30期の基本方針について」という卓話をお聞きます。たいへん楽しみにしています。

先週3月30日に姉妹クラブの台湾基隆ロータリークラブの一部の方が日本に来るということで、八戸ロータリークラブからも10人ほど行き、千葉県成田で合流してゴルフをしました。夜は非公式ですが懇親を深めました。その中でいろいろ話が出ましたが、今年の11月17日に台湾基隆クラブが70周年を迎えるので、八戸クラブからもたくさんの方に来て欲しいという話を受けました。また、こちらも次年度築館ガバナーが八戸クラブから排出されますので、10月に行われる地区大会にはぜひ来てくださいという話をしながら、大いに盛り上がったというところです。それらの準備もこれから進めていきたいと思いますので、宜しくお願いします。

P E T S 修了証伝達式

国際ロータリー第2830地区2023-24年度
南グループガバナー補佐 吉田賢治様

次年度ガバナー補佐を務めさせていただき
ます吉田と申します。よろしくお願いいたし
ます。先ほど小林会長からお話がありまし
たが、先週行われたP E T Sに皆様にお手伝
いいただきました。朝8時前からお集まりい
ただき、ご準備いただいたり、途中で進行案
内などいろいろと皆さんからお力添えをいた
だきました。本当にありがとうございます。
これから築館年度が7月にスタートしますが、
ぜひ始まってからも皆さんのお力がまだま
たくさん必要ですので、ぜひお力をお借りで
きればとよろしくお願いします。

P E T S 修了証をお渡します。

修 了 証

会長エレクト研修セミナー

会長エレクト 紺野 広 様

貴殿は2023-24年度国際ロータリー
第2830地区会長エレクト研修セミナー
プログラムをすべて修了したことを
証します。

2023年3月26日

国際ロータリー第2830地区
2023-24年度ガバナー 築館智大

先週から南グループの各クラブにお邪魔し
てエレクトの皆様にお渡しさせていただいて
います。これからもよろしくお願いします。



幹 事 報 告 正部家光彦 幹事

○ロータリーレートのお知らせ

4月1日より、1ドル=133円



○和気満堂に向けてのなぞかけ
桜前線とかけてボディビルの
の初心者ととく。心はどんど
ん北へ(鍛え)上がるでしょう。

委 員 会 報 告

親睦・会場委員会

浜谷英幸委員



○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 広瀬知明さん
- ・奥様誕生日 橋本八右衛門
さん

武輪会頭、本日の卓話よろし
くお願いします。

小林幹夫・広瀬知明・夏川戸 斉

小井田和哉さん

渡辺 孝さん 本当の春になりました。

山村和芳・岡崎孝文さん ニコニコデー

P E T S お礼

P E T S 実行委員会 道尻誠助さん



本日は鶴飼実行委員長がご
欠席ですので、代わりにご挨拶
します。3月25日～26日の
会長エレクト研修セミナーの
ためにたくさんの方がお手伝

いくださいました。本当にありがとうございました。
当日も朝早くから本当に皆さんの盛り
上がりを感じました。また準備期間も1か
月という短い間でしたので、実行部隊の石橋
信雄さん、奈良全洋さん、小田山紀暢さん、
事務局の山田敬子さんたちは、開催1週間前
は夜11時くらいまでつめて頑張ってください
ました。本当に皆さんのお力で和気満堂がど
んどん充滿していけばと思っています。今日
はお礼に代えさせていただきます。

地区研修協議会ご協力をお願い

小井田和哉さん

今、道尻さんからP E T S の御礼のお話し
がありましたが、わたしからは次の築館エ
レクトのガバナー就任前最後のイベント、地区



研修協議会へのご協力をお願いを申し上げます。

5月13日(土)地区研修協議会本番で、5月12日(金)の午後、14時頃から前日準備を予定しています。5月13日は朝9時半から受付ですので、だいたい8時くらいからお手伝いをお

願います。13日は5時半くらいまで会議、その後に懇親会があります。地区研修協議会は会場は八戸市公会堂、懇親会はプラザアーバンホールを使う予定です。後日ご協力のお願いを回しますので、そこに参加できる、できないなどご記入ください。皆さんのご協力をお願いします。



「八戸商工会議所 第30期の基本方針について」



昨年11月より八戸商工会議所会頭を務めさせていただいております武輪と申します。よろしくお願いいたします。

今回のこのお話を広瀬さんから伺ったときに、はいわかりましたとはなかなか言えずに、戸惑った理由がいくつかあります。まず1つは八戸ロータリークラブは、ロータリークラブの中でも八戸で一番最初にできたクラブと認識していますが、そうそうたる方がいらっしゃる中でわたしごときがどんな話ができるのか。2つ目にはこの卓話の後に会員入会がもれなくついてくるのではないかということ。

3つ目として商工会議所会頭としての話ということでしたが、わたしも副会頭を拝命してから約12年になりますが、会議所の事業の中で新幹線開業事業実行委員会を基にして誕生した「八戸前沖さばブランド推進協議会」、東日本大震災のときは商工会議所が事実上の事務取りまとめをもらった「八戸水産業中小企業復興補助金への取り組み」内容については、具体的な事例も伴って何度かお話をさせて頂く機会がありました。さて、商工会議所全般のことを話すとなると、なかなかそれに伴うような中身がまだ備わっていないところなんです。

そういう中で特にきょうは先輩方もいらっしゃるし、長年役員、議員をお務めいただいている先輩方、長年会頭を務めたわたしの義理の父がいる前で、会議所の話をするこ

八戸商工会議所 会頭 武輪俊彦さん

とはこれ以上ない試練だなと思ってきました。今日、出がけに家内からサバの話に変えてもらったといわれてきましたが、そうはいきませんので、わたしなりに考えていることを申し上げてみたいと思います。

第30期といいますと、昨年11月1日から3年間の任期です。その期の初めに所信としていくつか述べさせていただいたことがあります。

① 1つは議員・会員の視点で会議所の業務を見直してみたい。

実際に商工会議所の業務に携わっている部分と、世間一般の方が考えているイメージとギャップがあるのではないかと考えています。現在、塚原副会頭に専務理事を兼務していただくという、全国的にもほぼ例のないことですが、そういうことをお願いして、副会頭の経験をしていただいた中から今は事務局の統括する立場も兼務いただいています。役員・会員と事務局の距離感をもう少し見直してみたいなと思っています。今が最適な形なのかかもしれませんが、そうでない形の場合と何が違うのかということの研究してみたいと思います。

会頭を拝命してから事務局に足を運ぶ機会がけっこうあります。そのつど報告や相談、決済をさせていただいております。副会頭当時は月1回の会頭会議（正副会頭・事務局幹部）での会議以外はほとんど事務局とのやりとりはありませんで、知らないうちにことが進んでいるということもあるのか。新聞の記

事に載るようなことも報道されてから初めて知ったということもありました。これを副会頭の皆さんの役目をちょっと見直して、月1回の会議だけではなく、いろいろな情報共有をしながら協議ができる。今はインターネットでメールのやりとりも可能なわけですから、そういうことを考えてみたいと思っています。

ここに常議員の皆さんもいらっしゃいますが、常議員会でもより議論を活発にしたいと考えています。事務局が用意したものが完璧であれば、何も意見が出ない。これが求められる姿なのかもしれませんが、そこにっていくまでの熟度をちょっと下げても。議員の皆さんからご意見が出て、協議をする中で八戸商工会議所の業務を組み立てていきたい。少し青臭い話になるかもしれませんが、実際にそうなった場合には会議が混乱する可能性があるかもしれませんが、そういう常議員の皆さんの立場も、また会議の在り方も見直してみたいと思っています。そういうことではなく、現在この姿に至っている理由はあるのだと思いますが、あとでそうでないというアドバイスをいただければ幸いです。

②行政はじめ関係機関との連携

この“連携”をキーワードに第30期事業を進めていきたいと考えています。それぞれいろいろな団体が活動する中で、似たような分野で活動している組織もあります。そのベクトルの方向合わせをすることによって、それぞれの活動の効果を最大限に発揮できる。そういう形をとっていききたいと考えています。

八戸市も商工会議所との連携については意識をしていただいております、今回の4月からの令和5年度の組織の再編にあたっても、人事異動にあたってもその辺を踏まえて検討していただいたのだと考えています。会議所としても市の取り組みに対してバックアップをするところがあれば行っていきたい。今年の10月に全国都市会議が八戸で開催されます。全国の市長、議会議長さん等が八戸に集まる。八戸をPRする絶好の機会です。この中でも八戸商工会議所としておもてなしの役割を果たして参りたいと考えています。

③常設委員会の見直し

これまで委員会については議員の皆さんそれぞれにいずれかの委員会に入っていた。どちらかというと、この委員会をお願いしたいということを事務局・執行部サイドからお願いをして委員会組織をさせていただいていました。各部会の方々が均等に各委員会に入るような形のバランスを見ながら組織させていただきましたが、なかなか委員会の活動については思うように進めていないというところを近年感じていました。

委員会の存在として、会頭からの諮問機関であって、事業をもつ組織ではないということも伺ったこともあります。わたしも副委員長を拝命したこともあります。正副委員長が苦勞する中で運営してこられました。これをちょっと考え方を变えて、委員会組織を見直させていただきました。「八戸活性化プロジェクト」という名のもとに3つの委員会、「中心街委員会」「観光委員会」「取引拡大委員会」の3つの委員会を組織しています。

その委員会を選んだ理由は、商工会議所として3年に1度会員の皆さま方に商工会議所の事業としてのアンケートを取らせていただいています。その中で連続して一番多く回答があったのが中心街について、観光、地域ブランドでした。それぞれを取り上げた今直面する課題ということで、3つの委員会を組織させていただきました。委員会の構成メンバーはこれまで議員の皆さんをそれぞれの委員会に張り付けるということではなく、議員の皆さんも限られた方、また議員以外の会員の方、関連団体の方に行政の方も加わっていただいております。

お手元に1枚の用紙をお配りしました。八戸商工会議所八戸活性化プロジェクトの元に3つの委員会があります。この3つの委員会の運営にあたっては、それぞれ中心街委員会はまちづくり八戸と、観光委員会・取引拡大委員会は観光協会、物産協会の流れを受けて、ビジットはちのへの連携をもとに下記の事業を取り組んでいきたいと考えています。

年度は始まったところですが、中心街の今

抱えているテーマとして、中心街の賑わいづくり、コロナ禍の元で途切れていたイベントの開催について、時間が迫っています。ホコテン、七夕についてはすでに議論を始めています。コロナ禍において株式会社まちづくり八戸がどのような形で会議所と連携していけばいいか。今年度に入ってからまちづくりはちのへも引越しをしました。今まで6階フロアに事務局を置いていましたが、2階の会議所のフロアと同じフロアに移動させていただいて、より連携が取りやすい環境を整えたつもりです。

まちづくり八戸の事業につきまして役員そして株主の皆さんから、まちづくり八戸の経営は健全な経営を株主会社としてされているけれど、もっとチャレンジしてもいいのではないかというようなお話も伺っています。中心市街地の環境が大きく変わっている中で、この株式会社まちづくり八戸の在り方についてはもう一步踏み込んだ形がとれないかということを検討していきたいと思っています。

観光委員会については、新館開業のときと比較すると観光による経済の影響がたいへん大きくなってきている。ここ数年コロナの問題がありましたが、これからインバウンドを含めて、その経済への影響はより大きくなってくるのではないかと。インバウンド対策を柱に検討していきたいと考えています。

事務局内部の取り組みとして、情報の共有を進めたい。デジタル化、IT化という話もありますが、この30期をスタートしてから事務局でグループウェアサイボウズを取り上げ、各職員のスケジュールが一覧で見られる形になっています。わたしもその情報が欲しいと思っているわけではないのですが、わたしもそのメンバーの中に入っていますので、会議所会頭室のパソコンあるいは会社のパソコンから職員全員のスケジュールが確認できるという状況です。また共有したい情報については随時掲示板に挙げて、みんながその情報を確認できるという形をとっています。これからよりペーパーレス化また経済環境ではキャッシュレス化が進むと思いますが、会議

所も率先してデジタル化に取り組んでいきたいと思っています。

以上、第30期がスタートするにあたり、こういうことを考え直してみたいと掲げさせていただいています。実際に実行できるかどうかはたいへん簡単なことではないと思います。皆さまからのご指導をいただきながら、会議所運営に取り組んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

次に浜の状況をお話したいと思っています。八戸の水揚げ状況がたいへん激減しているということについては、皆さん新聞報道等でご承知のことと思います。7、8年くらい前からイカの水揚げ高が極端に減少して、魚価も桁が変わるというような状況でした。われわれがそれまで加工原料で使っているイカの原料の価格はだいたいキロ130円という相場。それを原料に仕事をしてきたわけです。1年経たないうちに相場が1,000円を超えたという状況です。今は少し相場が弱くなり800円くらいにきています。130円当時の原料と同じような商売は延長線上で考えられないという中で、イカの仕事を中心に据えた業者はそれから何かに転換しなければいけないということを余儀なくされてきたわけです。

もう1つの柱であるサバの水揚げについても、ここ数年はそこそこ減少傾向の中にあっても、それなりの魚価で漁獲量を確保できていたわけですが、一昨年、昨年からそれも激減してしまったという状況です。漁期がだんだん遅れて水揚げ開始の時期が遅くなってきたということはあるのですが、それでも最後は12月に入ってそれなりに水揚げがあって、一昨年は終わりました。ところが昨年はそれが何もなく、空振りで終わってしまったという状況です。

原料も今までは八戸前沖サバということで差別化を図ってきたものが、八戸のサバを扱えない。実際にものがないという状況で、昨年は北部太平洋一帯、青森県から岩手、宮城、福島、茨城、千葉のそれぞれのところで水揚げされたサバをかき集めて何とか原料を調達したという状況です。現在は全国、北海道か

ら九州まで、昨日照会があったのは京都府のサバ。全国からかき集めてもなかなか必要な数量の原料が集まらないという環境の中で仕事をしなければいけないという状況です。

一方、国もそれに対して何も手立てを考えていないということではなく、新しい魚種の開拓、未利用魚を活用しましょう。今年の4月、5月からこの2か月間にわたって3か年、国が要請をして、船を賃借して試験操業をするという取り組みが始まります。4月にスタートしてまだ時化で船が出ていないと思いますが、もうそろそろそういう話が出てきて、報道、新聞等にも掲載されるのではないかと考えています。深海魚、スケソウダラに似たタラ類の水揚げをすることによって原料を賄えないか、という取り組みもなされています。また昨日の報道では秋田の男鹿から陸送された。数量的には限られていますが、いろいろ選択肢を広げて、加工業者も対応しなければいけないという状況です。

たいへん厳しい環境にはあるわけですが、地元の水揚げに恵まれてきた八戸港が、今、他港がこれまでしてきた苦労をこれから八戸もしなければいけないと思って、気を新たに組み組んでいきたいと思っています。市民の皆さんにも地元の魚の消費ということでご支援をいただいていますし、今後もよろしくお願いできればと思います。

質疑応答

Q1：広瀬知明さん：武輪会頭、本日はお越しいただいてありがとうございます。会議所の会員はコロナ禍で会議所が窓口になって補助金を受けるということで、一時的に会員が増えたと聞いていました。今、コロナが落ち着いた中で恐らくこれから会員が減っていくのではないかと思います。わがクラブも会員をどう獲得していくかで頭を悩ましているところですが、会議所として会員の増強策をどのように考えていますか？

浜のほうですが、以前サバが獲れない前、ノルウエーサバを輸入して結構使っていたと思いますが、加工業者の間で輸入のサバはど

うなっているのかを伺いたと思います。

A1 武輪会頭：会員数についてはご指摘がありましたように、コロナ禍での補助事業の関係で会議所がその辺の指導をフォローさせていただいた方々が入会して増えたということがあります。これは八戸に限らず全国的なことだと思います。その方々が増加が収まった後にまた減少傾向になることは考えられています。

今、会議所として取り組んでいること、また国からも求められているのは伴走型支援です。そういう補助事業を取り入れて組み組んだ事業者の方にもフォローアップ。またそこに足を運んで、その後の問題の状況をお聞きしたりということを心がけていく中で、さらに追加の支援策が出た場合はそういう対応を会議所としてきめ細目に対応していきたい。その中で会員数も維持、拡大できればと考えています。

サバの原料も問題ですが、一時的に八戸のサバの水揚げも現在と近いくらいに減少した時期が昭和の終わりにありました。その当時、ノルウエーからのサバの輸入を開始したわけですが、その時と環境が違うのは国内のサバの価格はどんと上がっています。昭和の終わりのときも上がりました。ノルウエーのサバはたいへん安かったです。ノルウエーのサバのマーケットをほとんどアフリカでした。アフリカに輸出しても経済的に豊ではないので、お金を取れないかもしれない。シップパック、船が向かっている途中でこれちょっとお金を貰えないリスクがあるということで引き返したりすることがあった状況の中で、日本のマーケットが広がっていったということです。値段がたぶん半分くらいだったと思います。そういう値段で浸透していったという状況がありました。

現在はノルウエーのサバは日本、アフリカだけではなく、東南アジア、韓国、中国にもマーケットは広がっていますので、相場がたいへん高くなっています。高くなって、どちらかというと日本のサバより高い相場です。

と推移してきた。今ここにきて日本のサバが高くなってきていて、相場が同じくらいだと思います。原料不足でこれからU Aサバにシフトさきかという動きがこれから出てくると思います。

今ブレグジットの関係でイギリス領海内での操業をノルウェー船がやっていたものができなくなった。外国船がイギリス領海内ですったということで、ノルウェー産の表示からイギリス産という表示の魚が増えてくると思います。北欧からの輸入のサバは増えてくると思います。

たまたまかもしれませんが、5月にノルウェーの輸出審議会の方が八戸を訪問します。場合によってはノルウェー大使も来るのではないかと。ノルウェーはサバだけでなくニシンやサケの販促を目的に来られると思います。そういう機会を利用しながら、八戸としても北欧の供給元を抑えておく必要があると思っています。恐らくご指摘の通り、北欧のサバは増えてくると思います。

謝礼贈呈：小林会長

出席報告										出席委員会							
第3266回例会（4月5日）					第3265回例会（3月22日）												
出席率			65.6%		出席率			66.1%		修正出席率		67.8%					
総会員数			62名		出席数		40名		総会員数			62名		メイクアップした人数		1名	
出席義務会員		出席免除会員		欠席数		出席義務会員		出席免除会員		欠席数		出席義務会員		出席免除会員		欠席数	
60名		2名		21名		59名		3名		19名							